

企画総務委員会 送付 3 - 7

沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める陳情書

受付年月日 令和 3 年 6 月 7 日

陳 情 者 提 出 者 1 名

署 名 者 3 2 6 名

6 / 1 4 追加署名 1 5 名

計 3 4 2 名

陳 情 書

2021年 6月 7日

千代田区議会議長 殿

【陳情者代表】

(件名)

他 26名

沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める陳情

1. 陳情理由

日本で唯一の地上戦となった沖縄戦では、県民の4人に一人、日本兵、米兵等をあわせて20万人余が尊い生命を失いました。

沖縄の人びとの戦後は、激戦地となった南部地域で犠牲者の遺骨を収集することから始まりました。戦後76年を経た今も収骨は終わっておらず、遺骨のDNA鑑定による身元確定と遺族への返還の取り組みは始まったばかりです。

そのなかで、昨年9月公表された辺野古新基地に関する「設計変更承認申請書」では、未だ多くの遺骨が残る南部地域から、埋め立て用土砂を供給する計画が明らかとなりました。

■さんは、「戦没者の血や遺骨粉を含んだ南部の土砂を埋め立てに使うのは、県内のみならず、国内外にもいる遺族の心を傷つける人道上の問題だ」と訴えています。■さんの訴えは、基地建設に対する賛否の立場を越えた、共通の思いではないでしょうか。

千代田区は、戦後50年の節目となる1995年に「国際平和都市千代田区宣言」を行い、以来毎夏、沖縄・広島・長崎へ区民らによる平和使節団を派遣し、平和事業の担い手育成に努力してきました。元ひめゆり学徒の方からの講話と南部戦跡見学は、沖縄使節団の学びの柱でした。

沖縄からの声に、こんどは私たちが応答する番だと思います。

以上の理由により、下記事項の陳情を行うものです。



2. 陳情事項

議会において以下を内容とする意見書を採択し、政府および国会に提出してください。

- (1) 戦争犠牲者の遺骨等を含む可能性のある土砂を埋め立てに使用しないこと。
- (2) 住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の歴史をふまえ、日本政府が責任を持って遺骨収集を実施すること。

以 上